

eコミュニティ・プラットフォームの現在と未来 -「知」と「絆」で高める地域防災力-



Disaster Risk Information Platform Project, National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

BOSAI-D RIP

開会趣旨

不確実性を孕む災害リスクに社会全体で立ち向かうためには、地域社会の多様な主体が協力・連携して災害リスクの軽減を図る「リスクガバナンス（協働型防災社会）」の高度化が不可欠となります。リスクガバナンスを高度化するためには、防災に関する専門家の知識や地域固有の実践的な知恵など、さまざまな「知」の統合が不可欠となります。加えて、平常時の地域コミュニティの自治や、新たな公共を担うNPO や事業者、行政などとの市民協働の過程で形成される地域社会の多様かつ重層的な「絆」が、災害時のセーフティーネットとして機能する「新たな地域防災の戦略」が求められます。

そこで、当研究所では、「知」の統合と「絆」の形成を促進し、平時の地域コミュニティの自治や地域経営を支援するとともに、地域防災の実践的活動を支援するための情報基盤として「e コミュニティ・プラットフォーム」の研究開発に取り組んでいます。本シンポジウムは、「e コミュニティ・プラットフォームの現在と未来-「知」と「絆」で高める地域防災力-」と題して、第1部（午前）は、e コミュニティ・プラッ

トフォームの開発コンセプトや既にオープンソースとして公開中のシステムの紹介と今後のバージョンアップの計画、さらに、同プラットフォームを用いた全国各地の取り組みの概要を紹介いたします。

第2部（午後の前半）は、同プラットフォームを利用して実施した「e 防災マップコンテスト」の受賞作品を具体的に紹介しながら、シンポジウム参加者の皆様に実際に同プラットフォームを体験していただく参加型セミナーを開催します。

第3部（午後の後半）では、住民組織やそれらの活動を補完するNPO や社会福祉協議会、コミュニティFM 局の方々を迎えたパネルディスカッションを実施し、来場者やインターネットの参加者と共に、平時の地域コミュニティの自治や地域経営、地域の魅力を高める地域プロデュースの実践、さらには、地域の災害リスクガバナンスの高度化の視点から、同プラットフォームの利活用の可能性や社会システムとして運用上の課題について討論します。

本研究開発は、政府の総合科学技術会議が府省連携で推進している社会還元加速プロジェクトのひとつに位置づけられています。

主催	独立行政法人 防災科学技術研究所	場所	東京国際フォーラム ホールD 5
日時	12月9日(木) 10:00~17:00 開場9:30		〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5-1 代表電話：03-5221-9000
参加費	無料		
対象	行政（地域防災、市民自治・協働、コミュニティ政策、情報政策、企画、まちづくりなどのご担当）、地域コミュニティ（自治会や地域経営を担うコミュニティ組織）、NPO はじめとする市民活動団体や中間支援団体、地域企業、コミュニティ放送局、社会福祉協議会などの方々		
参加申込	WEB または FAX による事前登録制 ・シンポジウムウェブサイト http://bosai-drip.jp/sympo2010.htm ・FAX 029-863-7541 (先着100名程度・申込順。ただし、午後のシンポジウムにつきましては定員を超えた場合は、自治体関係者及び地域の防災リーダーの方々を優先させていただきます。)		



独立行政法人防災科学技術研究所
災害リスク情報プラットフォーム研究プロジェクト

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1
TEL 029-863-7553 FAX：029-863-7541





プログラム

午前の部 開会 10:00 (開場 9:30)

第1部 研究報告 (10:00~12:00) 総合司会：坪川博彰 (防災科学技術研究所・研究員)

1. e コミュニティ・プラットフォームのコンセプトと実証実験の概要 ～地域コミュニティの自治とリスクガバナンスの視点から～

報告者 長坂 俊成 (防災科学技術研究所・主任研究員) ・ 李 泰榮 (防災科学技術研究所・研究員)

2. 分散相互運用環境に対応した e コミュニティ・プラットフォーム 2.0 の機能と開発計画 ～地域コミュニティのソーシャルウェア、SNS、相互運用 Web-GIS などの統合的オープンソースとして～

報告者 白田裕一郎 (防災科学技術研究所・主任研究員) ・ 田口 仁 (防災科学技術研究所・研究員)

午後の部 13:30 ~ 17:00

第2部 e コミュニティ・プラットフォーム体験セミナー (13:30~15:00)

1. e 防災マップを活用した地域防災の 新たなアプローチ

e コミュニティ・プラットフォームの利用体験に先立ち、今年度実施した e コミュニティ・プラットフォームを活用した「e 防災マップ」のコンテストの受賞作品を中心に、知の統合と絆の形成による地域防災の実践事例を紹介します。

報告者 須永 洋平 (防災科学技術研究所・研究員)

2. e コミュニティ・プラットフォームの 利用体験

来場者の方々に、e コミュニティ・プラットフォームをしていただきます。PC をお持ちの方は会場でネットワークに接続してご自身の端末から e コミを体験することができます。PC をお持ちでない方には、会場でご用意する PC から体験することもできます (数に限りがございますのでご承知おきください)。

インストラクター 岡田真也 (防災科学技術研究所・研究員)

第3部 パネルディスカッション (15:10~17:00)

利用者から見た e コミュニティ・プラットフォームの展望と課題

e コミュニティ・プラットフォームは、コミュニティの自治や地域経営、リスクガバナンスを支える統合的な Web システムとして開発されました。本プラットフォームは、国、自治体、事業者、NPO ほか営利・非営利を問わず無償で利用できるオープンソース・ソフトウェアとして既に公開され、利用者と開発者が一体となったオープンソースのコミュニティを形成し、開発技術や利用ノウハウの交流を行いながら成長しつつあります。

そこで、本パネル討論では、地域コミュニティの自治や地域経営、さらには、NPO やコミュニティ FM などの地域メディアによる地域プロデュースの視点から、平時の地域社会の知の統合と絆の形成

を通じて、防災を含む包括的な地域課題を解決し、地域の魅力を高める e コミュニティ・プラットフォームの活用方策について討論します。

パネリスト (順不同・敬称略・予定)

苅谷 由紀子 (つくば市社会福祉協議会 地域福祉グループグループ長)

天野 竹行 (NPO 法人愛知ネット 代表)

木ノ下 勝矢 (NPO 法人レスキューサポート九州 代表)

麓 憲吾 (NPO 法人ディ！あまみ FM 代表)

増田 和順 (ラチオつくば 代表取締役)

堀 千鶴 (藤沢市六会地区地域経営会議委員 六会地区自治連副会長)

垣谷 吉彦 (兵庫県佐用町役場 企画防災課まちづくり防災室 係長)

コーディネーター 長坂 俊成 (前掲)

申し込み書 (FAX 番号 029(863)7541) ※ご記入の上、このままご送信ください。

お名前 フリガナ (全角カタカナ)

ご所属

電話番号 メールアドレス

ご参加希望 午前の部のみ 午後の部のみ どちらも参加 (○で囲んでください)

ご登録区分 自治体関係者 地域の防災リーダー 一般 (○で囲んでください)

備考 (ご同伴者の名前もありませんでしたらご記入ください)